

## 令和2年度の地域包括支援センターの活動と課題について（自由記載）

## 【元気応援通所サービスC】

○元気応援あらかわ教室（委託先：サンスマイルあらかわ）

1クール（8ヶ月）を予定したがコロナ禍のため9月から実施。9名の参加。参加者は新規参加者。評価は良好だった。教室終了後ははばたき会へ参加している。

## 【一般介護予防事業】

○転倒予防教室（委託先：サンスマイルあらかわ）

継続6地区、新規2地区にて実施。

○元気クラブ（委託先：サンスマイルあらかわ）

1クール（9ヶ月）を予定したがコロナ禍のため9月から実施。13名の参加。評価は良好だった。次年度はサンスマイルあらかわの自主事業化し「すまいるクラブ」として活動が引き継がれる。

## 【包括的・継続的ケアマネジメント】

○荒川地区介護支援専門員連絡会

計3回実施。事例検討会を1回実施し、知識技術や事例検討の進め方を学習することを目的とする。

## 【生活支援体制整備事業】

○あらかわ互近所ささえ～る隊

第1回目の会議を8月27日に行い、令和2年度の取り組み等について話し合った。

昨年度の荒川ささえあいワークショップであがった活動（前坪団地のお茶の間の開設、下鍛冶屋地区の助け合いの仕組み作り、大津地区の声掛等による助け合いの仕組み作り）について、取り組んでいくことになった。

・前坪団地のお茶の間については民生委員より、昨年まで地域の敬老会に出ていた方たちの中で亡くなられた方もいて、参加者がいなくなりました。まとめ役の人がいないとなかなか難しいかもしれない、との話あり。

・下鍛冶屋地区の状況について区長さんに話を聞く。地区には33班ある。冬場の除雪は、区の役員11人でやっている。区長さんも一人暮らしや気になる人のところにはたまに行って、状況とか聞いたりしている。本人や家族から、別に困っていないと言われれば、そんなに何度も聞くことはできない。何かあるときには対応をする。まわりは心配して介護保険サービスなど利用させたいと思っても、本人が大丈夫だから利用したくないと言うので、それ以上は勧められない。

・大津地区の状況については、今月末区長さんから話を伺うことにしている。

○各地区の問題点として感じることにについて意見交換を行った。

・コロナ禍で高齢者は活動自粛の結果、閉じこもりが増えている。

・コロナで話し合う場が少なくなった。

・高齢者宅を訪問する際、コロナの関係もあり、何か訪問するきっかけや話題がないと難しいかなと感じた。

・子供たちも部活動やスポ少などの活動ができなくなり、体力が落ちたと感じる。体を動かす機会が減り、ストレッチがたまると感じる。

・隣に住んでいる人の顔が分からず、災害等の時、声をかけて良いのかどうか？と思う。

## R3年度の取り組み（自由記載）

## 【元気応援通所サービスC】

○元気応援あらかわ教室（委託先：サンスマイルあらかわ）

1クール（7ヶ月）で計25回を予定。参加者は新規9名。

## 【一般介護予防事業】

○みんなで笑おう元気アップ教室（委託先：サンスマイルあらかわ）

継続5地区、新規5地区にて実施している。

## 【包括的・継続的ケアマネジメント】

○荒川地区介護支援専門員連絡会

計3回実施予定。ケアマネジメントの向上を図る目的で今年度も事例検討会は実施の方向にて調整中。

## 【生活支援体制整備事業】

○あらかわ互近所ささえ～る隊

① 茶の間等の交流の場で、周知活動。（区長、民生委員にも相談）

② 現状を知ってもらうためのワークショップや座談会の開催。

③ ささえ～る隊便りの発行（回覧板で）。あらかわら版にも掲載。